

東建パブリニユース

2020年1月8日

経営管理本部 広報IR室

《このニュースは、当社に関連する記事が掲載された新聞・雑誌等の情報を逐次、速報するものです。》

掲載

2019年12月22日 西日本新聞 P.10

●当社に関する記事の掲載がありましたので、以下の通りご報告いたします。

刀剣ワールドの名刀と九州国立博物館の代表的な刀剣を展示

「刀剣ことはじめ 刀剣ワールド財団と九博の名刀」が1月1日から

展示作品すべてが撮影可能
刀匠などによる関連イベントも

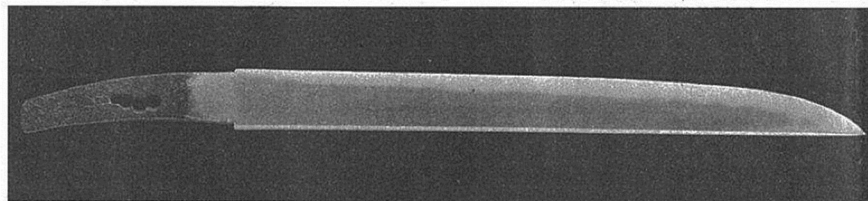
幅広い年齢層に支持されている刀剣ブーム。九州国立博物館(福岡県太宰府市石坂4の7の2)で2020年1月1日(水・祝)から2月24日(月・休)まで特集展示「刀剣ことはじめ 刀剣ワールド財団と九博の名刀」が開催される。

国内有数の刀剣コレクションを所有する刀剣ワールドの協力で「重文 短刀 銘来国光(名物 塩河来国光)」写真Ⅱといった九州初お目見えの名刀の数々を、九州国立博物館所蔵の代表的な刀剣とともに15振り展示する。それぞれの見どころや来歴の他、刀剣に関する独特な用語についての解説文も。初心者も十分楽しめる内容。全作品を撮影できるというのも魅力だ。

期間中の1月19日(日)と2月9日(日)には、関連イベント「刀剣を見て触れて体感してみよう」が行われ、刀匠などによる刀剣に関するプログラムも。関連イベントの詳しい内容や申し込みは九博公式ホームページ(www.kyuhaku.jp)から。

1月11日(土)午後6時から九州国立博物館研究員によるミュージアムトークも行われる。観覧料は一般430円、大学生130円(高校生以下・18歳未満および70歳以上は無料)。開館は午前9時半～午後5時(金土曜は午後8時まで)。月曜休館(1月13日、2月24日は開館。1月14日休館)。

問い合わせは、NTTハローダイヤル ☎050(5)542(8)6000(午前8時～午後10時)へ。



以上